

“ふるさとちば”のための政策推進を

# 茂呂つよし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

道の駅  
やちよ

## 「防災道の駅」に選定

### 災害時、救援活動の拠点に

住み良いふるさとづくりに力を注いでいる茂呂剛県議（八千代市選出）は9月定例県議会で登壇し、防災対策や教育問題などについて、熊谷俊人知事ら県執行部に質問しました。災害が発生した際、応急活動の拠点になる「防災道の駅」に、地元八千代市の「道の駅やちよ」が選定されましたが、茂呂県議は選定理由を質問、さらに防災機能を十分に発揮できるように周辺の道路整備などを要望しました。茂呂県議の質問と熊谷知事ら県執行部の答弁を紹介します。



登壇し、一般質問を行う茂呂剛県議

#### 9月定例県議会一般質問

茂呂議員 私の地元 八千代市の「道の駅やちよ」は、国道16号に面する好立地のみならず、新川が脇を流れ、自然の恵みを感じることができる場所でもある。この度、その「道の駅やちよ」が全国に先駆けて、本県では唯一「防災道の駅」に選定された。この制度は、全国の「道の駅」の中から、国土交通省が「防災道の駅」に選定し、防災拠点として活用していくというもの。また、「防災道の駅」の選定にあたっては、県の広域

的な防災拠点に位置付けられていることが要件になっており、「道の駅やちよ」についても、千葉県大規模災害応援受援の「広域防災拠点」として、指定されたと聞いている。そこで、うかがうが、「道の駅やちよ」を広域防災拠点として指定するにあたり、考慮した点は何か。また、県内他の道の駅についても、拠点として活用すべきと思うがどうか。知事 広域防災拠点は、災害時における自衛隊、消防、警察の応急活動や救援物資輸送の中継基地となる拠点であり、県や市町村等の施設のうち、交通の利便性や施設の規模など条件を満たすものの中から、県が指定しています。「道の駅やちよ」は、緊急輸送道路に面し、交通の利便性が高いこと、また、県中央部に位置し、県内全域への支援拠点として優れた立地であること等を考慮して、広域防災拠点として指定しました。道の駅については幹線道路に隣接し、駐車場やトイレ等が整備されていることから、広域防災拠点の確保に当たっては、引き続き、道の駅の活用も含め検討してまいります。

## 梨新品种「秋満月」デビュー

### 12年かけて育成 産地活性化期待

茂呂議員 本年5月、県が12年かけて育成した新品种の梨の愛称を「秋満月」と決定し、今月中旬から販売が開始された。みずみずしく甘く、大麦おいしい梨でこの「秋満月」をきっかけに、「千葉の梨」のファンがさらに増え、産地の活性化につながることを大いに期待している。そこで、うかがうが「秋満月」のプロモーションの実施状況はどうか。農林水産部長 県では、「秋満月」のデビューに向けて、チバくんを使った新しいロゴマークを活用し、梨に貼るシールや出荷箱に同封するリーフレットを作成するなど、生産者や関係団体と連携して準備を進めてまいりました。9月中旬からの販売開始に当たっては、県ホームページで「秋満月」の販売場所を掲載したほか、県民だよりや県内で頒布されるフリーペーパーによる広報、フェイスブックなどのSNS、テレビやラジオなどによる情報発信を行い、認知度向上を図っているところです。今後、より多くの皆様「秋満月」を知っていただき、また、その生産拡大の機会が高まるよう、様々な機会や広報媒体を活用したプロモーションに取り組んでまいります。

要望

茂呂議員 「道の駅やちよ」の防災機能を最大限発揮するため、近隣施設と連絡する道路の整備など、周辺環境を含め、今後、地元八千代市と検討を進めていくことを要望する。

#### 茂呂つよし・PROFILE

- 略 歴 ●
- 1968年 八千代市に生まれる
- 1987年 八千代松陰高校卒業
- 1992年 秀明大学卒業
- 1992年 イワキ(株)勤務
- 2006年 八千代市議会議員当選
- 2010年 八千代市議会議員再選
- 2014年 第36代八千代市議会副議長
- 2015年 千葉県議会選挙当選
- 現 職 ●
- 県議会 文教常任委員会副委員長  
決算審査特別委員会委員
- 千葉県民間保育振興会会長

● 県政に関するご相談を気軽にどうぞ

## 茂呂つよし 県事務所

276-0046 八千代市大和田新田1092-7  
TEL 047-480-0244  
FAX 047-458-7033

# 小中学校のICT教育

## 教員の指導力に格差

### 「スクールサポーター」が支援

茂呂議員 小中学校にICT環境を整備し、デジタル技術を活用した学びを目指す、いわゆる「GIGAスクール構想」が国により進められている。

こうした中、各市町村の学校現場を見ると、日常的に授業に端末を活用している学校がある一方、まだ手探り状態で、うまく生か

し切れていない学校も少なくないように見受けられる。市町村や学校によって、ICTを活用した教育活動に差が生じることは好ましくない。県として小中学校の教員の研修を行うなど、県全体のICT教育を充実させていくことが必要ではないか。

そこで、市町村の村立小中学校において、授業でのICT活用を確実に進めるために、県教育委員会としてどのように取り組んでいくのか。

茂呂議員 ICT機器を活用した授業を日常的に展開するためには、教員の指導力の向上を図ることが必要不可欠であり、県教育委員会で、各自自治体で導入し

たソフトウェア別の教員研修や、ICTを活用した授業の好事例の周知等を行ってまいりました。

さらに、市町村教育委員会及び各学校におけるICT活用の指針作りや環境整備を進めるため、県内全ての教育事務所等に、専門的な知見を持った「GIGAスクールサポーター」を配

用促進に積極的に取り組んでいただき、運輸収入の確保を図るとともに、バラ街道を歩いて訪れる来園者を増やし、「バラの街八千代」をPRしていただければと

置する費用を、9月補正予算に計上したところです。これにより、指導主事とGIGAスクールサポーターが連携して自治体や学校を訪問し、ICTの活用状況を把握した上で、それぞ

れの課題に即した支援を行うとともに、端末活用のマニュアル動画を作成するなど、県内全ての公立小中学校で、ICTを活用した授業が確実に展開できるよう努めてまいります。



県執行部の施策に要望を行う茂呂県議

## 京成バラ園入場客へ

### 東葉高速鉄道の利用呼びかけを

茂呂議員 京成バラ園の周辺道路は、シーズン中大変混雑することから、東葉高速鉄道の利用を促すことにより、運輸収入の確保を図るべきかと思っております。

総合企画部長 京成バラ園は、最寄り駅である八千代緑が丘駅から徒歩約15分の距離に位置しており、鉄道利用によるアクセスが良好な観光施設です。

このため、東葉高速鉄道では、春のバラが見頃のシーズンには、車両中吊り広告を使用した鉄道利用PR

を行っているほか、八千代緑が丘駅までの往復割引乗車券とバラ園の割引入園券をセットにした「東葉コースチケット」を発売し、鉄道利用の促進を図っています。

県としても、運輸収入の確保は、会社の経営安定化を図る上で必要不可欠なものと考えており、引き続き、

会社の取組状況を注視してまいります。

要望

茂呂議員 八千代緑が丘駅周辺の市民団体では、駅からバラ園までの遊歩道を「日本一のバラ街道」とすべく、バラの植樹などに取り組まれている。

会社にはぜひ、鉄道の利

用促進に積極的に取り組んでいただき、運輸収入の確保を図るとともに、バラ街道を歩いて訪れる来園者を増やし、「バラの街八千代」をPRしていただければと

そこで一案だが、都内へ乗り入れていくという利点を活かして、バラのシーズンに車両一面をバラで埋め尽くすようなラッピング車両を運行すれば、都内の方にも広くアピールすることができ、「バラの列車に乗ってバラを見に行こう」と売り込むことにより、利用者の呼び込みにもつながると思うので、ぜひ検討していただくようお願いいたします。

## 県道船橋印西線八千代市吉橋地先

### 44.9%の歩道完成

茂呂議員 県道船橋印西線八千代市吉橋地先における歩道整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道船橋印西線の八千代市吉橋地先については、歩道が狭いことや、市道との交差点に右折レーンがないことから、延長480mの区間で、両側の歩道整備と

交差点改良を実施しております。これまでに、約5割の用地を取得し、交差点の印西市側において、延べ44.9%の歩道整備が完成いたしました。現在、まとまった用地が確保できた箇所において、占用物移設など、工事着手に向けた準備を進めているところです。

引き続き、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、残る用地の取得を進め、事業の推進に努めてまいります。

## ちばアクアラインマラソン4年ぶり開催へ

茂呂議員 ちばアクアラインマラソンは県内最大のスポーツイベントとして定着。私も2016大会、2018大会と出場したが、その際の沿道からの温かい声援、地域を挙げてのおもてなし、海の上を走る爽快感は何物にも代えがたいものがあった。

新型コロナウイルス感染症の状況が少しでも改善して、来年4年ぶりとなるアクアラインマラソンが無事開催できることを願っている。

そこで、次回のちばアクアラインマラソンについて、どのような大会にしたいと考えているのか。

知事 ちばアクアラインマラソンについては、多くの皆様から開催を期待する声

をいただいております。当然、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた上ではありますが、来年度開催に向けた準備に取り組むことといたしました。

県としては、この機をたおらえ、スポーツの力で多くの皆様が元気になるよう、感染症の状況に十分留意をし、開催を待ち望んでいた方々が安心して参加ができ、これまで培ってきた「温かいおもて梨」で皆様をお迎えするなど、千葉の魅力を発信し、地域の活性化につなげられる大会を目指しております。

要望 茂呂議員 喜んでいただける大会となるよう、しっかりと準備を進めてほしい。

## 定年退職校長の再任用制度導入

茂呂議員 9月8日の定例教育委員会会議で、定年退職する校長を引き続き、校長として再任用する人事を令和4年4月1日から導入し、配置することになったが、再任用校長を導入する目的は何か。

教育長 学校現場ではここ数年、定年退職を迎える教員が多く、それに伴う大量採用が続いており、校長についても、今年度末には、

県立学校校長157名のうち、46名が定年退職を迎えるなど、大幅な交代期となっています。

県教育委員会では、教員全体の若返りが進むなか、校長としての豊富な経験や、優れた組織マネジメント能力等を有する適任者を校長に再任用することとしました。

再任用校長には、配置された学校で、学力向上や働き方改革など、様々な教育課題の解決や、特色ある学校づくりを一層推進することを期待しています。